

国際会計人材の育成の取組み

2022年9月29日

公益財団法人財務会計基準機構

- 当財団は、IFRSに関して国際的な場で意見発信できる人材及びIFRSに基づく会計監査の実務を担える人材等の育成を目的として、国際会計人材ネットワークを2017年4月に組成している。
- 現在のネットワーク登録者は、以下のとおりである。

	企業の役員 ・従業員	公認会計士 ・監査法人 勤務者	証券アナ リスト	基準設定主 体の委員・ 研究員	官庁の 行政官	学識 経験者	合計
2017/4 (組成当初)	55名	642名	17名	28名	11名	0名	753名
2022/6	113名	1,098名	30名	26名	31名	1名	1,299名

- ◆ 国際会計人材ネットワークでは、登録者全員を対象としたシンポジウムや、特定のテーマによる少人数を対象とした定例会を行っている。
- ◆ 前回のご報告（2021年11月16日）以後、2022年3月23日に第5回シンポジウム「我が国のサステナビリティ開示のあり方を考える」をウェビナー形式で開催している。

内容	講演者(役職は講演当時)
オープニング・スピーチ	林田 英治（財務会計基準機構 理事長）
ご講演	井上 俊剛 様（金融庁企画市場局審議官）
サステナビリティ開示に関する国内外の取組み	川西 安喜（SSBJ設立準備委員会委員長）
パネルディスカッション (1) 国際的なサステナビリティ開示基準の開発への貢献のあり方 (2) 我が国におけるサステナビリティ開示基準の開発のあり方	【パネリスト】 井口 譲二 様（ニッセイアセットマネジメント(株) チーフ・コーポレート・ガバナンス・オフィサー執行役員、統括部長） 勝部 安彦 様（東京電力ホールディングス(株) 経営企画ユニット ESG推進室長） 阪 智香 様（関西学院大学商学部教授） 中條 恵美 様（EY新日本有限責任監査法人 パートナー） ファシリテーター：川西 安喜（SSBJ設立準備委員会委員長）

◆ 当財団は、IASB等の組織の活動に直接参加し議論できる人材を育成することなどを目的として、2012年より会計人材開発支援プログラムを開始し、これまで以下のとおり、実施している。

◆ 第1期～第6期（2012年1月～2022年1月）

作成者47名、利用者23名、監査人43名、行政官1名 計114名

◆ プログラムの受講修了者については、以下の役職につかれているほか、多くの方が各セクターで会計基準設定に関連する活動に参加されている（1名が複数の役職に就くものも含む）。

◆ IFRS諮問会議(IFRS-AC)メンバー	2名	(うち1名は副議長)
◆ IFRS解釈指針委員会(IFRS-IC)委員	1名	
◆ IASB資本市場諮問審議会(CMAC)委員	2名	
◆ IASBのスタッフ（在ロンドン）	4名	
◆ ASBJの委員	6名	
◆ ASBJ専門委員会の専門委員	19名	
◆ ASBJの専門研究員	17名	

- ◆ 現在、第7期の開講に向けての準備を進めている。
- ◆ 第7期で予定している講義の内容は、以下のとおり。
 - ◆ ASBJ/SSBJ委員長及び同常勤委員による講義 8回
 - ◆ 外部講師による講義 4回
 - ❖ 国際的に活躍されている我が国市場関係者
 - ❖ 海外の基準設定に携わる関係者 等
 - ◆ 概念フレームワークの講義 全8回
 - ◆ 英語によるディスカッション・トレーニング 4回
 - ❖ 英語圏ネイティブスピーカーを講師に迎える



